作成日　２０２４年９月２日

環境活動レポート

（２０２３年６月～２０２４年５月）

日本産業廃棄物処理株式会社

目次

１．会社概要

２．環境方針

３．環境目標と実績

４．環境活動計画及び取組結果とその評価、

次年度の取組内容

５．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等に有無

６．代表者による全体評価と見直し

１．会社概要

１）商号及び代表取締役

　　　日本産業廃棄物処理株式会社　　代表取締役　重田　和夫

２）所在地

本　　　　社：静岡県静岡市葵区牧ヶ谷２４６５番地

　　　岡山営業所：岡山県岡山市南区浦安南町１５９－１

　　　仙台営業所：宮城県仙台市太白区南大野田３２－１５

　　　つくば営業所：茨城県土浦市荒川沖２２４－７６

３）環境管理責任者及び担当者連絡先

　　　環境管理責任者　川島　俊介

　　　環境管理事務局　栗山　起代美

　　　連 絡 先 　【電話番号】０５４－２７７－０３７３

【Ｆ Ａ Ｘ】０５４－２７７－０７２３

４）事業内容

　　　産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬

５）対象範囲

　　　本社事務所（静岡県静岡市葵区牧ヶ谷２４６５番地）、岡山営業所、つくば営業所

　　　、仙台営業所の活動、従業員が対象。

６）事業の規模

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 単位 | ’21.6～’22.5 | ’22.6～’23.5 | 23.6～24.5 |
| 収集運搬量 | ｔ | 4147.94 | 5678.31 | 4386.31 |
| 売上高 | 千円 | 607,458 | 660,900 | 678,869 |
| 従業員数 | 人 | 22 | 23 | 23 |
| 保有車両 | 台 | 22 | 22 | 22 |
| 敷地面積(本社) | m2 | 1628 | 1628 | 1628 |
| 保管面積（本社） | m2 | 825 | 825 | 825 |
| 床面積（本社） | m2 | 464.17 | 464.17 | 464.17 |
| 床面積（岡山） | m2 | 102 | 102 | 102 |
| 保管面積（岡山） | m2 | 30.7 | 30.7 | 30.7 |
| 床面積（仙台） | ㎥ | 21 | 21 | 21 |
| 床面積（つくば） | ㎥ | 29.19 | 29.19 | 29.19 |

過去３年の収集運搬量　※全営業所を含む　　　　　　　　　　　　（単位：ｋｇ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ’21.6～’22.5 | ’22.6～’23.5 | 23.6～24.5 |
| 産業廃棄物 | 1,639,790 | 1,786,442 | 1,767,463 |
| 特別管理産業廃棄物 | 2,508,149 | 3,891,870 | 2,618,850 |
| 合　　　計 | 4,147,939 | 5,678,313 | 4,386,313 |

７）積替保管施設の詳細データ

　　積替え又は保管を行う場所の面積　８２５㎡

【積替え保管の上限】

本社

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【産業廃棄物】 |  | 【特別管理産業廃棄物】 |  |
| 燃え殻 | 1.0ｔ | 引火性廃油 | 11.5ｔ |
| 汚泥 | 7.9ｔ | 腐食性廃酸 | 11.5ｔ |
| 廃油 | 6.0ｔ | 腐食性廃アルカリ | 11.5ｔ |
| 廃酸 | 3.0ｔ | 感染性産業廃棄物 | 11.5ｔ |
| 廃アルカリ | 3.0ｔ | 特定有害廃油 | 11.5ｔ |
| 廃プラスチック類 | 7.0ｔ | 特定有害汚泥 | 11.5ｔ |
| 紙くず | － | 特定有害廃酸 | 11.5ｔ |
| 木くず | － | 特定有害廃アルカリ | 11.5ｔ |
| 金属くず | 2.3ｔ | 特定有害廃石綿等 | 　８．０㎥ |
| ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず | 4.0ｔ | 廃水銀 | 11.5ｔ |
| ばいじん | 0.6ｔ |  |  |

岡山営業所

※岡山市の積み替え保管量許可は産廃、特管ごとに立米単位で許可されている。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【産業廃棄物】 | 15.3㎥ | 【特別管理産業廃棄物】 | 15.4㎥ |
| 燃え殻 | 引火性廃油 |
| 汚泥 | 腐食性廃酸 |
| 廃油 | 腐食性廃アルカリ |
| 廃酸 | 感染性産業廃棄物 |
| 廃アルカリ | 特定有害廃油 |
| 廃プラスチック類 | 特定有害汚泥 |
| 紙くず | 特定有害廃酸 |
| 木くず | 特定有害廃アルカリ |
| 金属くず | 特定有害廃石綿等 |
| ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず |  |
| ばいじん |  |

８）設立日

　　　１９６５年１２月２４日

９）資本金

　　　１２００万円

１０）収集運搬車両一覧

最新版

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 車体の形状 | 自動車登録番号又は車両番号 | 最大積載量（kg） | 所有者又は使用者 | 備考 |
| １ | バン | 静岡１００　は　３３－０９ | ５，８００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ２ | バン | 静岡１００　せ　１６－２３ | ３，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ３ | バン | 静岡１００は　３３－６６ | ６，５００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ４ | バン | 静岡１００せ　３８－１１ | ２，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ５ | バン | 静岡１００せ　４１－６４ | ２，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ６ | バン | 静岡１００せ　４３－１８ | ２，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ７ | バン | 静岡１００せ　５０－６６ | ３，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ８ | バン | 静岡１００は　３６－３１ | ６，４００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| ９ | 脱着装置付コンテナ専用車 | 静岡１００　は　３６－５７ | ８，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） | 　 |
| 10 | バン | 静岡４００ぬ　　　２７２ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 11 | バン | 静岡４００ぬ　１２－２５ | １，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 12 | 脱着装置付コンテナ専用車 | 静岡１００は　３７－２８ | ７，９００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 13 | バン | 静岡４００ぬ　　２０-４３ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 14 | バン | 静岡１００せ　６０－３０ | ４，０００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 15 | バン | 静岡４００ぬ　４０－０５ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 16 | バン | 静岡４００ぬ　４３－３５ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 17 | バン | 静岡１３０さ　　　２８１ | １１，５００ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 18 | バン | 静岡４００ぬ　７３－３７ | ７５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 19 | ステーション　　ワゴン | 静岡５０２な　８３－９１ |  | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 20 | バン | 静岡４００ぬ　８５－７７ | ７５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 21 | バン | 静岡４００ね　１０－５０ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 22 | バン | 静岡４００ね　２３－５２ | ３５０ｋｇ | 日本産業廃棄物処理（株） |  |
| 事務所の所在地 | 　静岡県静岡市葵区牧ヶ谷２４６５番地 |
| 駐車場の所在地 | 　静岡県静岡市葵区牧ヶ谷２４６５番地　静岡県静岡市葵区牧ヶ谷２４６６番２、２４６３番 |

１１）収集運搬許可の保有一覧

産廃



※期限超過している許可については、現在更新手続き中

　特管



※期限超過している許可については、現在更新手続き中

１０）組織図



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 社長 | 環境管理責任者 | EMSの確立・実施・維持の確認EMSの実績、提案を社長に報告 |
| 取締役 | 各営業所責任者営業Ｇ | 適正処理の指導・管理取引先・処分委託先の管理リサイクルの推進 |
| 運搬Ｇ | 安全業務の徹底産業廃棄物の収集運搬・管理騒音・排気ガスの削減 |
| 事務Ｇ | マニフェストの管理省エネ・省資源・廃棄物の削減保管廃棄物の管理 |
| ＥＭＳ事務局 | 事務局業務（提案・援助・推進）環境関連法的対応（届出・許認可申請）対外接渉（地域・行政・関連団体等）安全管理全般に関する指導緊急事態及び事故発生時の緊急対応・連絡 |
| 法定責任者 | 特別管理産業廃棄物収集運搬・保管責任者 | 廃掃法、(特別管理)産業廃棄物収集運搬・保管基準の順守 |
| 産業廃棄物管理責任者 | 廃掃法、産業廃棄物処理委託基準の順守 |
| 安全運転管理者 | 道交法の順守 |
| 危険物保安監督者 | 消防法の順守 |
| 安全衛生推進者 | 労働安全衛生法の順守 |
| 古物商管理者 | 古物営業表の順守 |
| 金属くず商管理者 | 静岡県金属くず営業条例の順守 |
|  |  |

１１）役割分担

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **日本産業廃棄物処理株式会社****ＥＡ２１環境経営方針****企業理念** **日本産業廃棄物処理株式会社は、地球環境保全が人類全体の最重要課題の１つである事を認識し、会社内のすべての活動が環境と調和するよう充分な配慮を払い、広く地球的視野に立って、環境負荷を軽減し、会社内のすべてに社員が環境の保全と改善に努め、２１世紀の会社の持続可能な発展に貢献する。****・当社の事業活動である（特別管理）産業廃棄物収集運搬業（積替保管を含む）が環境に与える負荷、影響の削減に努め、社会情勢・情報を的確に捉えてチャンスとする。****・安全業務を徹底する。****・環境経営について継続的改善を行う。****・適用される環境関連法規などを遵守する。****環境方針はインターネット（http://www.nihonsanpai.co.jp）を用いて開示する。****制定日　　２０２１年６月１日****日本産業廃棄物処理株式会社****代表取締役 重　田　和　夫** |  |

３．環境目標とその実績

当社で使用する化学物質はない。不適合は黄色枠になる。

本社　年間ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量(電力11,161kwh,ｶﾞｿﾘﾝ8,669L,軽油70,349L,LPG71.83kg)

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力ﾐﾗｲｽﾞ㈱（2021年度）の調整後排出係数「0.377㎏-CO2/kWh」を使用した。



岡山　年間ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量(電力1,782kwh,ｶﾞｿﾘﾝ5,007L,軽油6,866L)

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中国電力㈱（2021年度）の調整後排出係数「0.521㎏-CO2/kWh」を使用した。



つくば　年間ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量(電力2,987kwh,ｶﾞｿﾘﾝ1,485L,軽油6,554L,LPG22.98kg)

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力ｴﾅｼﾞｰﾊﾟｰﾄﾅｰ㈱（2021年度）の調整後排出係数「0.441㎏-CO2/kWh」を使用した。



仙台　年間ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量(電力2,523kwh,軽油6,080L,LPG44.71kg)

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東北電力（2021年度）の調整後排出係数「0.457㎏-CO2/kWh」を使用した。



４．次年度の取組内容

本社



岡山



つくば



仙台



５．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等に有無　　※評価日　２０２４年６月１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　評価者　　　　川島　俊介

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関連法規 | 遵守事項 | 活動内容 | 評価 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律　　 | 適正処理適正運搬適正管理 | 契約書締結・管理 | ○ |
| 廃棄物の仕分徹底 | ○ |
| 車両の管理 | ○ |
| マニフェスト管理・保管 | ○ |
| 帳簿の作成 | ○ |
| 自社廃棄物 | マニフェスト交付・保管 | ○ |
| 許可(更新・変更) | 許可（更新・変更）申請 | ○ |
| 道路運送車両法 | 法定点検 | 法定点検・車検 | ○ |
| 道路交通法 | 適正管理 | 安全運転管理者の選出 | ○ |
| 個人情報保護法 | 情報漏洩対策 | ネットワーク管理 | ○ |
| 消防法 | 適正管理適正運搬 | 積替保管基準遵守 | ○ |
| 危険物保管監督者選任 | ○ |
| 運搬基準・運搬方法の遵守 | ○ |
| 古物営業法 | 適正管理 | 帳簿の記載 | ○ |
| 静岡県条例 | 実績報告 | 報告書作成提出(６月) | ○ |
| 静岡市条例 | 実施確認 | 毎年１回自社見学会開催 | ○ |
| 家電リサイクル法 | 再商品化の協力 | 指定業者への搬入 | ○ |
| フロン排出抑制法 | 第一種フロン回収 | 第一種フロン回収業者への搬入自社エアコンの簡易点検 | ○ |
| 労働安全衛生法 | 労働環境保持 | 安全衛生管理者の選出 | ○ |

環境関連法規等の違反及び訴訟等は対象期間内ありませんでした。

今後も法令遵守を徹底していきます。

川島俊介

６．代表者による全体評価と見直し

|  |
| --- |
| 収集運搬量が減少しているのは入札でいくつかの大型病院を落札できなかったことが大きく影響している。空いた人手を生かして時間外労働時間の削減や業務の効率化、リサイクル営業件数の改善に繋げていきたい。燃料使用量に関しては、全営業車のハイブリッド化が済んだので、今後大幅な改善は難しいのが現実。猛暑が続いておりエアコン使用は必須なので効率的な配車・訪問ルートを組み、エコドライブを実施して地道に取り組む事。その他項目も現実的に可能な取り組みを続けていく。社内移動で担当が変わっても環境事故、クレーム等を起こさないよう、教育訓練等を実施していく事。２０２４年　９月２日取締役　　岡田　達宜 |